特別版

Empowered by Innovation

NEC

できる®

Windows 8 パソコン 乗換え案内

Windows XP、Vista、7からの NECパソコン編

清水理史 & できるシリーズ編集部

インプレスジャパン

本書の読み方

●用語の使い方

本文中では、「Microsoft® Windows® 8」のことを「Windows 8」または「Windows」と記述しています。また、本文中ではチャームを表示している領域を「チャーム バー」と記述しています。本文中で使用している用語は、基本的に実際の画面に表示される名称に則っています。

●本書の前提

本書では、「Windows 8」がインストールされているNECパソコンで、インターネットに常時接続されている環境を前提に画面を再現しています。また、Windows 8はタッチパネルでの操作を、Windows XP、Windows Vista、Windows 7はマウスでの操作を前提に説明しています。

●本書に掲載されている情報について

本書に掲載されている情報は、2012年9月現在のものです。本書の発行後に、情報が変更されることもあります。

「できる」「できるシリーズ」は、株式会社インプレスジャパンの登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、Internet Explorerロゴ、Officeロゴ、Wordロゴ、Outlook、Outlookロゴ、SkyDrive、SkyDriveロゴ、Windows Liveは、米国Microsoft Corporationの米国および/またはその関連会社の商標です。
そのほか、本書に記載されている会社名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の登録商標または商標です。
なお、本文中には™および®マークは明記していません。

Copyright © 2012 Masashi Shimizu and Impress Japan Corporation. All rights reserved.
本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

まえがき

マイクロソフトから、これまでのWindowsのイメージを一新する最新OS「Windows 8」がリリースされました。その特長は、大きく分けて3つあります。

1つめのポイントは、あらゆる点で高速になったパフォーマンスです。電源ボタンを押せばすぐに使えるようになる高速な起動、すぐに起動し軽快に動作するアプリは感動的と言って良いほどの快適さを実現しています。

2つめのポイントとなるのは、デザインが一新されたユーザーインターフェイスです。デスクトップを中心としたこれまでのWindowsの操作性も確保しながら、新たにスタート画面と呼ばれるタイル状のアプリが並んだ画面を用意し、ここからWindowsの操作を始めるスタイルへと大きく変更されています。スタート画面から起動するアプリは全画面表示でシンプルな構成となっているうえ、マウスやキーボードによる操作はもちろんのこと、画面を直接触れて操作するタッチ操作でも快適に使えるように設計されているため、これまでのWindowsとはまったく違った体験をすることができます。

最後となる3つめのポイントは、オンラインサービスとの連携です。Microsoft アカウントを使ってWindowsへサインインすることで、オンラインでアプリを手軽にダウンロードできたり、オンラインストレージにデータを保存できたりと、インターネット上のクラウドサービスの機能がうまくOSに組み込まれており、クラウドを意識することなく利用できるようになっています。

このように、劇的な変化を遂げたWindows 8ですが、そのOSを動作させるパソコンも、大きく進化しています。CPUなどの基本的なスペックが高くなっているのはもちろんのこと、ディスプレイにタッチパネルを採用した機種が増えてきたうえ、持ち運びに便利なタブレットタイプの製品も登場するなど、Windows 8の機能を活かすための工夫がなされています。ソフトウェア、ハードウェアともに大きく進化したことで、パソコンの新しい時代が始まったと言っても言い過ぎではないでしょう。

本書は、このようなWindows 8、そしてWindows 8を搭載したNECパソコンにはじめて触れる人に向けて執筆した冊子です。Windows 8とはどういうOSなのかという概要はもちろんのこと、新たに搭載されたWindows 8ならではの使い方やこれまでのWindowsとの操作の違いを紹介することで、パソコンの基本的な使い方や従来のWindowsから乗り換えた場合の疑問を解消できるようにしています。

また、NECパソコンには、オリジナルの機能や便利なアプリが搭載されています。これらの使い方を丁寧に解説することで、パソコンの用途を広げたり、より便利にパソコンを使いこなす方法も紹介しています。本書を手に取ることで、Windows 8を搭載したNECパソコンを使いこなせるようになり、その魅力を少しでも感じていただければ幸いです。

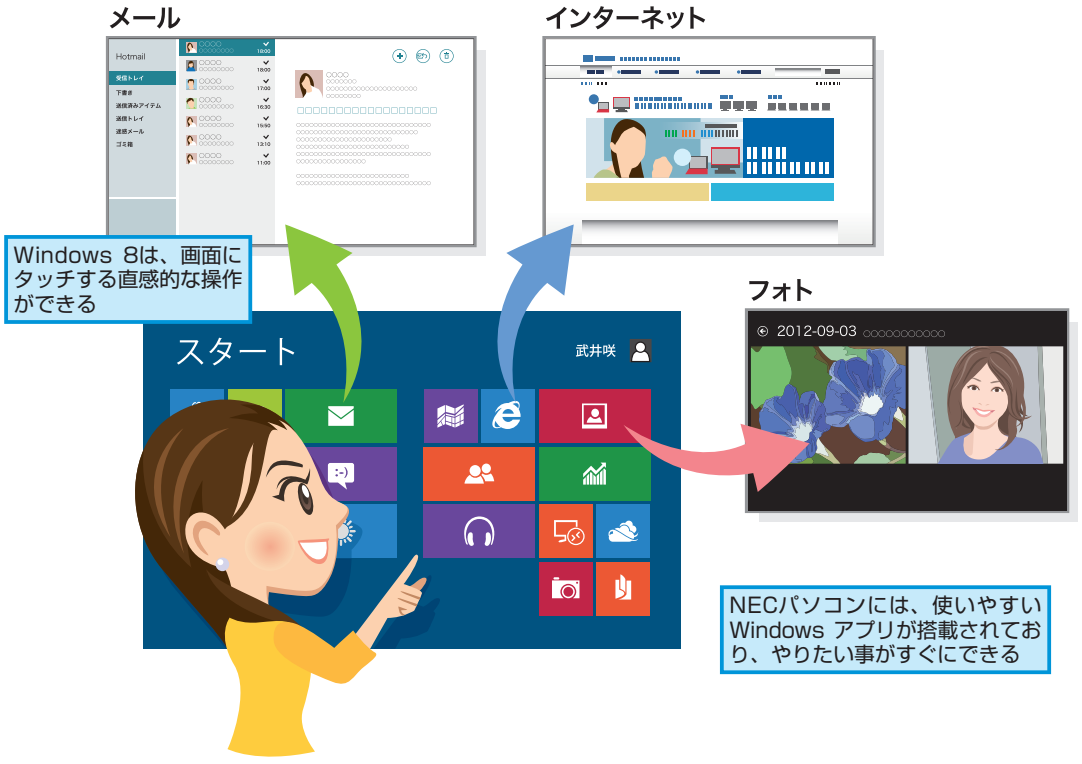
2012年9月　清水理史

新しくなったWindows

パソコンを使うためのOSであるWindowsが、「Windows 8」という新しいバージョンになりました。どのようなOSで、具体的に何ができるのでしょうか？

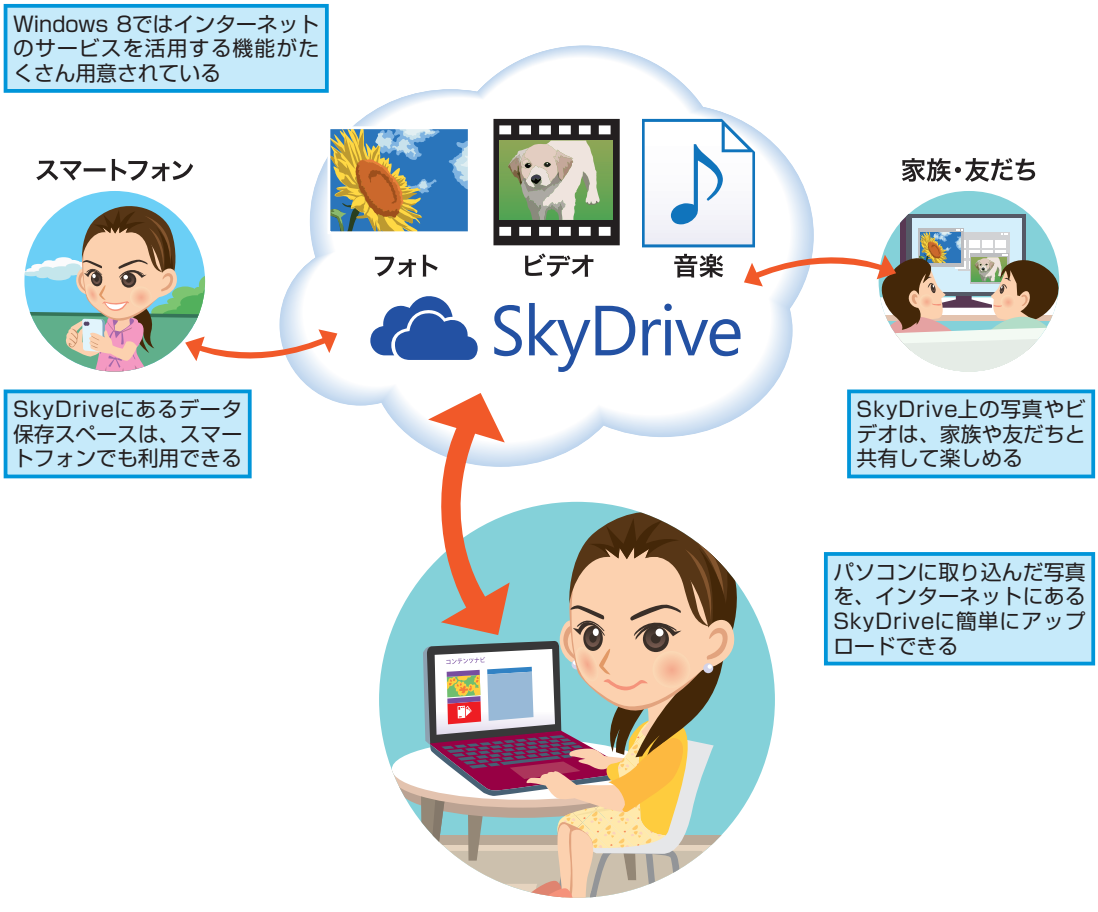
1 直感的な操作で、やりたいことがすぐにできる！

「パソコンってなんだか難しそう……」。そう感じていた人でも、新しくなったWindows 8なら、心配いりません。Windows 8では、アプリがタイルのように並べられたシンプルな画面が採用されているため、使いたいアプリをすぐに見つけられます。また、画面に直接触れることでパソコンの操作ができるタッチ操作に最適化されているため、直感的な操作でアプリをサッと起動することもできます。しかも、NECパソコンには、パソコンを仕事に活用したり、普段の生活に役立てるためのたくさんのアプリが標準で搭載されています。さまざまなアプリを活用できるので、パソコンにはじめて触れる方でも、すぐにいろいろなことを楽しむことができます。



2 いつでもどこでも、必要なデータが共有できる！

メールやオンラインストレージなど、インターネットを使ったサービスを活用してみませんか？　インターネットサービスとの連携が強化されたWindows 8なら、難しい設定や操作は一切必要ありません。アプリを起動すれば、自動的にインターネットから情報を取得できたり、文書の保存先が標準でインターネット上のデータ保存スペースになっていたりと、インターネットサービスを意識せずに使えるようになっています。さらに、NECパソコンには、インターネット上のデータ保存スペース（SkyDrive）にアップロードしたデータをスマートフォンからも使えたり、ほかの人と共有できる機能などもプラスされています。インターネットを活用した新しいパソコンの使い方にチャレンジしてみましょう。



目　次

まえがき …… 1
新しくなったWindows … 2
目次 …… 4

第1章　Windows 8基本編　5

1 Windows 8の基本操作　<タッチ操作とマウス操作> …… 6
2 パソコンの初期セットアップをするには　<初期セットアップ> …… 8
3 パソコンを終了するには　<シャットダウン> …… 14
4 パソコンを起動するには　<サインイン> …… 16
5 フォルダーを表示するには　<フォルダーの表示> …… 18
6 フォルダーを作ってファイルを移動するには
<フォルダーの作成・ファイルの移動> …… 20
7 Windowsの設定を変更するには　<PC設定> …… 22
8 デスクトップの背景を変更するには　<コントロールパネル> …… 26
この章のまとめ …… 30

第2章　インターネット編　31

9 Windows ストア アプリを使うには　<ニュース・天気> …… 32
10 Webページを見るには　<Internet Explorer> …… 38
11 キーワードでWebページを探すには　<URLボックス> …… 40
12 いろいろなWebページを見るには　<Internet Start> …… 42
13 メールを使うには　<メール> …… 44
この章のまとめ …… 48

第3章　Windows 8活用編　49

14 デスクトップ アプリを使うには　<ソフト＆サポートナビゲーター> …… 50
15 Windows ストア アプリをインストールするには　<Windows ストア> …… 54
16 パソコンで写真を取り込むには　<ムービーフォトメニュー・MediaShow> …… 58
17 写真をインターネットにアップロードするには　<コンテンツナビ> …… 62
18 家族や友達とファイルを共有しよう　<共有フォルダー> …… 66

付録1　いままでのメールを使うには …… 70
付録2　コンテンツナビをスマートフォンで使うには …… 72
付録3　Windows 8とこれまでのWindowsとの操作比較 …… 76

第1章

Windows 8 基本編

最新のWindows 8を搭載したNECパソコンは、使い慣れたこれまでのWindowsの特徴はそのままに、タッチ操作や手軽に扱えるアプリなど、たくさんの新しい魅力を備えたパソコンです。まずは、新しくなったWindowsの概要とその基本的な使い方について見ていきましょう。

●この章の内容

❶ Windows 8の基本操作……6
❷ パソコンの初期セットアップをするには …8
❸ パソコンを終了するには……14
❹ パソコンを起動するには ……16
❺ フォルダーを表示するには ……18
❻ フォルダーを作ってファイルを移動するには……20
❼ Windowsの設定を変更するには……22
❽ デスクトップの背景を変更するには ….26

Windows 8の基本操作

タッチ操作とマウス操作 新機能

Windows 8を使い始める前に、基本的な操作方法を確認しましょう。Windows 8は、タッチでも、マウスでも操作できます。それぞれの操作方法を覚えましょう。

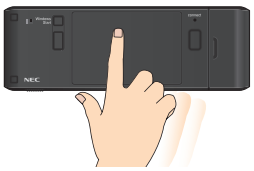
NECパソコンで使えるタッチデバイス

NECパソコンには、タッチパネル式の液晶ディスプレイを搭載した機種、タッチパッドを搭載した機種、タッチ操作に対応したリモコンを搭載した機種があります。なお、本書の手順はタッチパネルを使用して説明します。

◆タッチパネル
画面に直接触って操作する

◆タッチパッド
パッド内を触って操作する

◆タッチパッドリモコン
リモコンの裏側にあるパッドを触って操作する



ヒント

タッチデバイスの操作は共通

タッチパッドやタッチ操作に対応したリモコンの操作方法は、タッチパネルと共通です。これらのタッチデバイスが搭載されたパソコンの場合も、本書のレッスンと同じ方法で操作することができます。

Windows 8で使うタッチ操作

●タップ（実行）

●長押し（メニューの表示）

●スライド（移動、スクロール）

●スワイプ（バーの表示）

●ストレッチ（拡大）

●ピンチ（縮小）

Windows 8で使うマウス操作

NECパソコンに付属しているマウスには、これまでのパソコンで一般的だったクリックやドラッグといった基本操作以外に、Windows 8ならではの操作をワンタッチで使うことができる便利な機能が搭載されています。以下の方法を参考にWindows 8を操作しましょう。

●クリック（選択）

マウスの左ボタンを押す操作

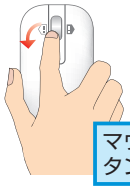
●右クリック（メニューの表示）

マウスの右ボタンを押す操作

●ドラッグ（アイテムの移動）

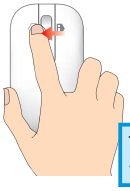
左ボタンを押したままマウスを動かす操作

●スクロール（表示の移動）



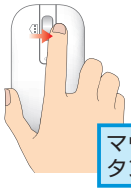
マウスのスクロールボタンを回転させる操作

●チャーム バーの表示



マウスのスクロールボタンを左に倒す操作

●アプリ切り替え



マウスのスクロールボタンを右に倒す操作

ヒント

デスクトップ アプリを使うときはマウス操作が便利

Windows 8では、シンプルな全画面表示のデザインのアプリと、これまで通りのデスクトップ画面で動作するアプリ（デスクトップ アプリ）の両方を使うことができます。デスクトップ画面で従来のアプリを使うときは、タッチ操作よりも、マウスを使って操作した方が快適に作業することができます。

Point

Windows 8で使えるいろいろな操作方法

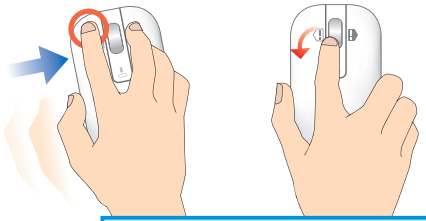
Windows 8では、従来のマウス操作だけでなく、画面にそのままタッチすることでも操作できます（タッチパネル搭載機種）。また、タッチもマウスも、Windows 8で搭載された新機能を使うための特殊な操作方法が用意されています。Windows 8を使う前に、どのような操作方法があるのかを確認しておきましょう。

テクニック

タッチ操作とマウス操作の違い

タッチパネルを搭載した機種では、「スライド」の操作によって、画面をスクロールさせます。たとえば、スタート画面で一画面に表示しきれないタイルを表示したいときに、スライドで画面をスクロールさせます。この操作をマウスで実行したいときは、スクロール バーをドラッグ、またはスクロール ボタンを使います。

スライドで画面をスクロールさせたり移動させる



マウスではドラッグやスクロールを使ってスライドと同じ操作を行なう

Lesson 2

パソコンの初期セットアップをするには

初期セットアップ　新機能

パソコンを起動して、使えるように設定していきましょう。初回起動時は、Windows 8の初期セットアップが実行されます。1つずつ確実に設定しましょう。

Windows 8の初期セットアップの流れ

Windows 8の初期セットアップは、以下のような流れで構成されています。最初にWindows 8のデザインやインターネット接続を設定し、次にWindows 8へのサインイン方法を選択します。サインインするためのアカウントを持っていないときは最後に新規取得します。

パーソナル設定（手順2～5）
デスクトップの色、パソコンの名前やワイヤレスネットワークへの接続を設定する。

▼

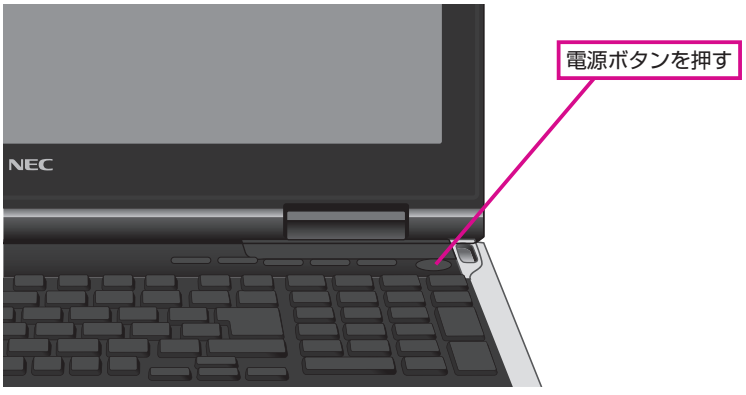
サインイン方法の選択（手順6）
パソコンのサインインに、Microsoft アカウントを新規登録して使うように設定する。

▼

Microsoft アカウントを新規登録（手順7～9）
Microsoft アカウントを新規登録する。

1 電源を入れる

パソコンの電源を入れる



ヒント

サインインってなに？

サインインとは、自分のIDとパスワードを使って、Windows 8を使える状態にすることです。Windows 8では、ユーザーごとに画面のデザインやデータを保存するフォルダーを変更できますが、サインインによって、ユーザーを判別し、ユーザーごとの個別の環境を準備します。

ヒント

Windows Live IDでもサインインできる

Windows 8にサインインするときに利用するMicrosoft アカウントには、これまでマイクロソフトのオンラインサービスで提供されていた「Windows Live ID」を利用できます。Windows Live IDを使ってWindows 8にサインインすることで、hotmailやSkyDriveなどのデータを、そのまま利用できます。

ヒント

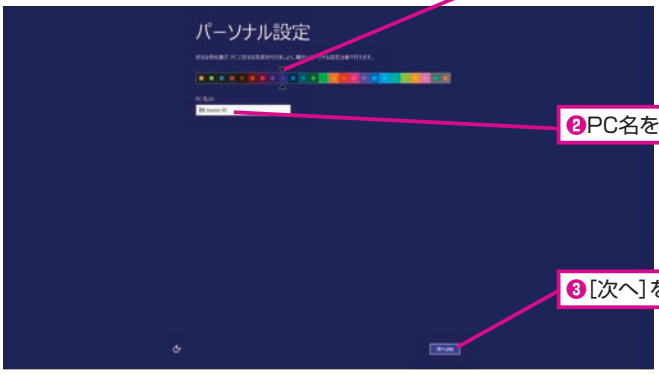
他の機種の電源ボタン

電源ボタンの場所は、機種によって異なります。パソコン本体の前面や上部、キーボードに配置されている場合もあるので、取扱説明書を参照し機種に合った方法で操作しましょう。

2 パーソナル設定を設定する

デスクトップの色とパソコンの名前を付ける画面が表示された

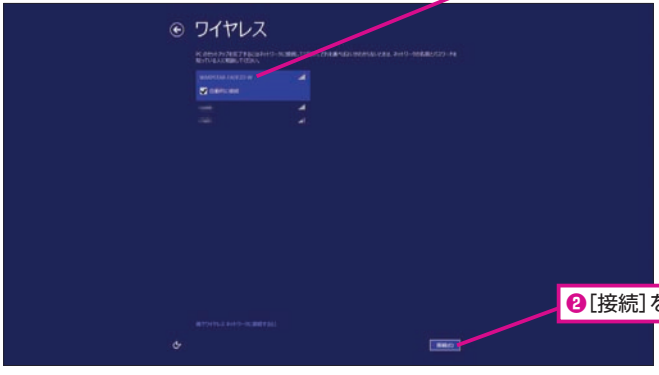
❶色をタップしてデスクトップの色を変更



3 接続するネットワークを選択する

接続できるネットワークの一覧が表示された

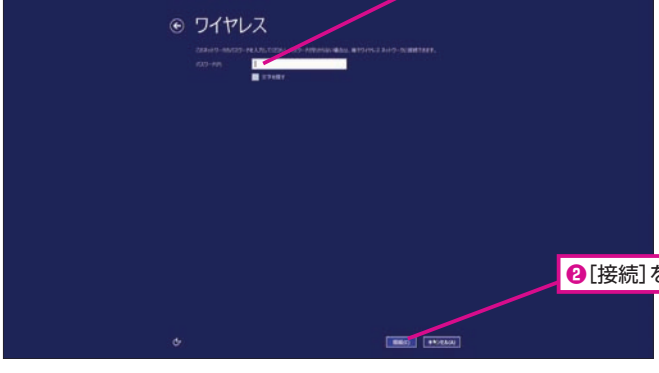
❶接続するアクセスポイントをタップ



4 アクセスポイントのパスワードを入力する

無線LANのアクセスポイントに接続するためのパスワード入力画面が表示された

❶パスワードを入力



ヒント

PC名ってなに?

PC名は、パソコン同士でファイルを共有するときなどに使います。このため、設置場所や利用者、機種名など、どのパソコンなのかを特定できる名前を付けておくと便利です。

ヒント

有線LANに接続している時は

このレッスンでは、無線LANでパソコンをインターネットに接続する方法を紹介しています。もしも、有線LANで接続しているときは、ネットワークの設定は特に必要ないので、手順3、手順4の操作は必要ありません。

ヒント

あとでネットワークに接続するには

無線LANの接続設定は、あとから実行することもできます。画面下の［後でワイヤレスネットワークに接続する］をタップして設定をスキップします。あとから、無線LANの設定をするときは、22ページのレッスン❼で説明するチャーム バーにある［設定］から［ネットワーク］のアイコンをタップします。

ヒント

アクセスポイントのパスワードってなに?

無線LANで接続するには、無線LANアクセスポイントに設定されているパスワードを入力する必要があります。パスワードは、無線LANアクセスポイントの背面や設定画面などに記載されています。取扱説明書を参考に確認して入力しましょう。

次のページに続く

5 基本項目を設定する

基本的な項目の設定画面が表示された

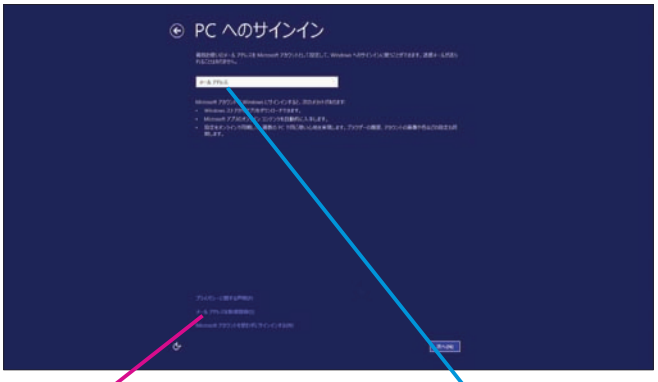
ここでは「簡単設定」を選択する

[簡単設定を使う]をタップ

6 サインイン方法を選択する

Microsoft アカウントでパソコンにサインインする方法が表示された

ここではMicrosoft アカウントを新規に登録する



[メールアドレスを新規登録]をタップ

すでにMicrosoft アカウントを登録している場合は、ここに入力する

ヒント

初期設定を自分で設定するには

手順5で［簡単設定］を選ぶことで、OSの基本的な設定を自動的に済ませることができます。もしも、更新プログラムの適用方法や位置情報サービスの利用許可、ネットワーク共有の方法を好みに合わせて変更したいときは、［自分で設定する］をタップして設定を進めましょう。

ヒント

Microsoft アカウントってなに？

Microsoft アカウントは、Microsoftが提供するさまざまなサービスを利用するためのユーザーIDとパスワードです。メールサービスやオンラインストレージなどのサービスを利用できるほか、Windows 8にサインインしたり、アプリをダウンロードするための「Windows ストア」の利用にも使います。

ヒント

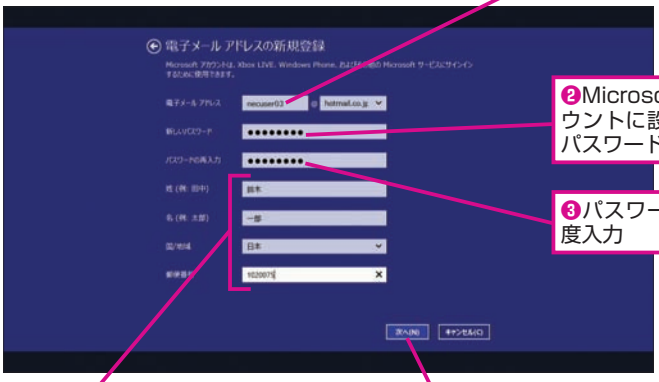
Microsoft アカウントを使わずにパソコンを使うには

手順6で［Microsoft アカウントを使わずにサインインする］をタップすると、これまでのWindowsと同様にパソコン上に作成したローカル アカウントでWindows 8にサインインできます。ただし、Microsoft アカウントを登録しないと、Windows ストアなど、Windows 8の新しい機能が利用できません。あとから登録することもできますが、なるべく初期設定で登録しておきましょう。

7 Microsoft アカウントの情報を入力する

Microsoft アカウント取得のための情報を入力する画面が表示された

❶取得したいメールアドレスを入力



❷Microsoft アカウントに設定するパスワードを入力

❸パスワードを再度入力

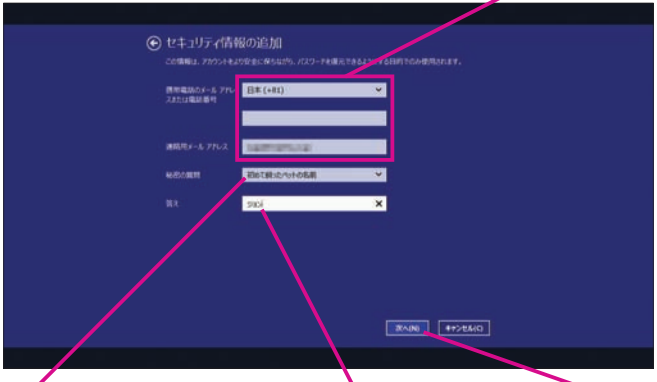
❹姓、名、国/地域、郵便番号を入力

❺［次へ］をタップ

8 セキュリティ情報を入力する

Microsoft アカウント取得のためのセキュリティ情報を入力する画面が表示された

❶携帯電話のメールアドレスか番号、または連絡用のメールアドレスを入力



❷ここをタップして秘密の質問を選択

❸秘密の質問の回答を入力

❹［次へ］をタップ

ヒント

Microsoft アカウントで取得できるメールアドレスは？

Microsoft アカウントを新規取得するときは、「○×△@hotmail.co.jp」、もしくは「○×△@live.jp」のメールアドレスを取得することができます。手順7で［電子メールアドレス］の右側の部分をタップすると変更できるので、好みの方で取得しましょう。

ヒント

セキュリティ情報ってなに？

手順8で設定している［セキュリティ情報］は、Microsoft アカウントのパスワードを忘れた際に、パスワードをリセットするために利用します。万が一のときにメールを受信できるように、確実にメールを受信できるメールアドレスを指定しておきましょう。

ヒント

ローカル アカウントってなに？

「ローカル アカウント」は、Windows 8自身に設定情報が保存されたアカウントのことです。Microsoft アカウントでは、ユーザー名やパスワードなどのアカウントを構成する情報がインターネット上に保存されていますが、ローカル アカウントでは、これらの情報がデータとしてWindows 8に記録されています。このため、サインインに利用することはできますが、Windows ストアやSkyDriveなどのオンラインサービスを利用することはできません。

次のページに続く

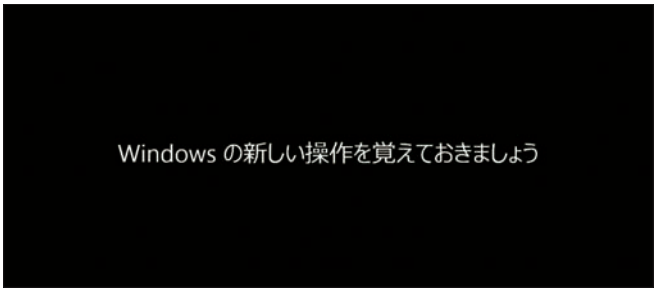
9 生年月日と性別、確認のための文字を入力する

生年月日・性別・確認のための文字を入力する画面が表示された

10 アカウントの作成が開始された

アカウント作成の間、Windows 8の基本操作の説明が表示される

画面の指示に従って、しばらく待つ



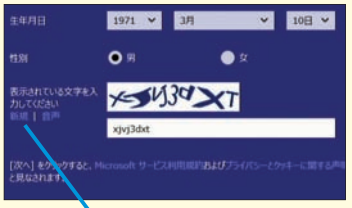
11 Windowsのスタート画面が表示された

Windowsが起動し、スタート画面が表示された

ヒント

確認の文字列が読みにくいときは

確認の文字列は、セキュリティ上、読みにくくしています。読みにくいときは、[新規]をタップして、判別できる文字になるまで画像を変更するといいでしょう。



表示されている文字列が見えにくいときは[新規]をタップする

Point

サインインにはMicrosoft アカウントを使おう

Windows 8では、パソコンを利用するときのアカウントに、Microsoft アカウントを利用します。これにより、Windows ストアやSkyDriveなどのオンラインサービスとWindows 8を連携させることができ、いろいろなアプリを追加したり、写真などのデータをオンラインで共有することなどが手軽にできます。ローカル アカウントでは、Windows 8の真の実力を発揮させることができないので、Microsoft アカウントを設定しましょう。

テクニック あとからMicrosoft アカウントに変更するには

Windows 8の初期設定時にパソコンがインターネットに接続されていなかったり、標準でローカル アカウントが設定済みとなっているときは、あとからMicrosoft アカウントに変更することができます。以下の手順を参考に、［PC設定］の［ユーザー］から、登録済みのアカウントをMicrosoft アカウントに切り替えましょう。11ページの手順7～9と同じ操作で、Microsoft アカウントを設定できます。

❶ローカル アカウントを使ってサインインする

初期セットアップの手順8でMicrosoft アカウントを使わずにサインインする方法を選択する

［Microsoft アカウントを使わずにサインインする］をタップ

ローカル アカウントの作成が始まるので、画面に従って設定する

❷［PC設定の変更］を選選択する

初期セットアップが終了しスタート画面が表示された

❶画面右端からスワイプしてチャーム バーを表示

❷［設定］をタップ

❸［PC設定の変更］をタップ

❸ローカル アカウントをMicrosoft アカウントに切り替える

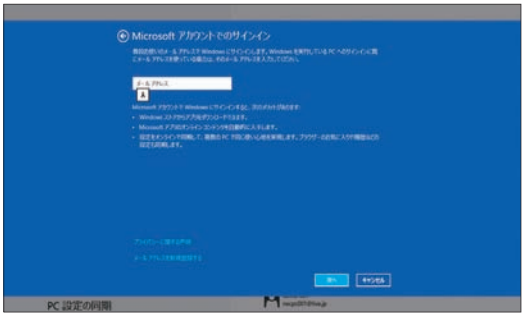
［PC設定］が表示される

❶［ユーザー］をタップ

❷［Microsoft アカウントへの切り替え］をタップ

❹［PC設定の変更］を選択する

11ページの手順7～9と同じようにMicrosoft アカウントを設定する



Lesson 3

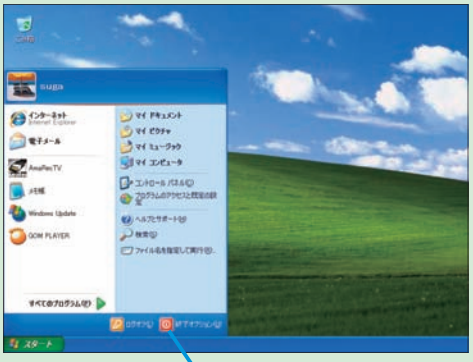
パソコンを終了するには

シャットダウン

Windows 8を使うための準備ができたら、続けてパソコンの基本操作を確認していきましょう。まずは、起動中のパソコンを終了する方法を解説します。

これまでのWindowsでは…

Windows XP



スタートメニューから[終了オプション]－[シャットダウン]の順に選択する

Windows Vista、Windows 7

スタートメニューから⏻を選択し[シャットダウン]をクリックする

1 チャーム バーを表示する

スタート画面を表示する

❶画面右端からスワイプ

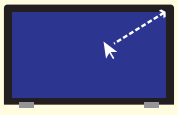
チャーム バーが表示された

❷[設定]をタップ

ショートカットキー

⊞+C……チャーム バーを表示

マウス操作



マウスポインタを画面右端の上の角に移動すると、チャーム バーが表示される

ヒント

画面をロックできる

スタート画面の右上に表示されているユーザー名をタップして［ロック］を選ぶと、Windows 8の起動時に表示されるロック画面に切り替わり、画面をロックできます。一時的に席を離れるときなど、ほかの人に画面を見られたり勝手に操作されないようにする機能です。

2 シャットダウンを選択する

[設定]が表示された

3 パソコンがシャットダウンする

シャットダウンの処理が行なわれる

ヒント

スリープや再起動はいつ使うの？

スリープは、起動中のアプリの状態などをそのままにパソコンの利用を中断できる機能です。普段パソコンを使い終わったときや、少しの間休憩したいときなどに使いましょう。再起動は、Windowsを最初から起動し直す機能です。パソコンにソフトやドライバをインストールしたとき、自動的にダウンロードされた更新プログラムを適用するときなどに利用します。

Point

普段はスリープで、必要な時だけシャットダウンでパソコンを終了する

パソコンを使い終わったら、普段は電源ボタンを押してスリープさせておくだけでかまいません。しかし、パソコンで起動中のプログラムを完全に終了させたり、消えては困るデータを安全に保存して、パソコンの電源を完全にオフにしたいときは「シャットダウン」を実行します。パソコンを長期間使う予定がないなどの特別な場合は、このレッスンを参考にシャットダウンしておくといいでしょう。

テクニック

スリープさせるには電源ボタンを押す

Windows 8の起動中にパソコンの電源ボタンを押すと、Windows 8をスリープさせることができます。スリープは、起動中のアプリを終了させずに、Windows 8を一時的に停止する機能です。長時間、パソコンを使う予定がないときは、シャットダウンした方がデータを安全に保管できるうえ、節電にも役立ちますが、普段は手軽で、高速なスリープでパソコンを終了させておくといいでしょう。

Lesson 4

パソコンを起動するには

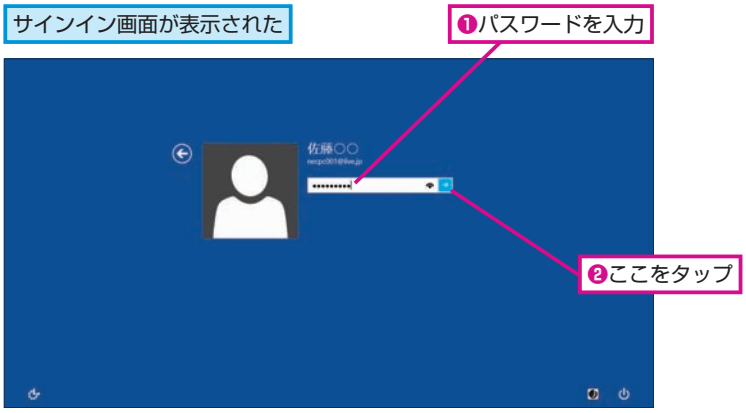
サインイン

パソコンの電源を入れ、使い始めるための操作を確認しましょう。Windows 8を使い始めるときは、ロックの解除やサインインなどの操作が必要になります。

1 電源を入れる

2 サインイン画面を表示する

3 Windowsにサインインする



ショートカットキー

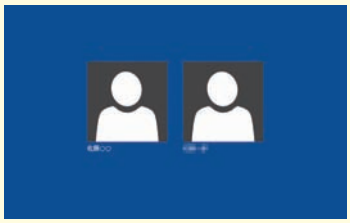
⊞ ····· サインイン画面を表示

マウス操作

画面上でクリックするとサインイン画面が表示される

ヒント 複数のアカウントを使い分けることもできる

家族で1台のパソコンを共有するときなどは、複数のアカウントを登録することができます。この場合、手順3のサインイン画面に、ユーザーごとの画像が表示されるので、サインインしたいユーザーをタップしてパスワードを入力します。



ヒント スクリーンキーボードを使える

キーボードの無いタブレットPCなどは、画面上に表示されたキーボードをマウスでクリックすることで文字を入力できるスクリーンキーボードを活用しましょう。手順3で画面左下のアイコンをタップし、［スクリーンキーボード］を選択すると表示されます。

4 Windowsが起動した

Windowsのスタート画面が表示された

Point
ロック解除とサインインが必要

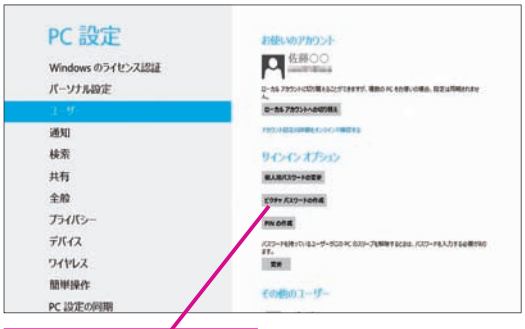
Windows 8は、電源を入れるだけでは使い始めることができません。電源ボタンを押してパソコンを起動すると、最初に日時などが表示されたロック画面が表示されます。画面下端から上にスワイプするとロックが解除され、サインイン画面が表示されるので、初期セットアップのときに登録したMicrosoft アカウントでサインインしましょう。サインインが完了すると、いよいよWindows 8を使い始めることができます。最初は「スタート画面」と呼ばれるタイル状のアイコンが並んだ画面が表示されます。ここから、さまざまなアプリを起動して、パソコンを操作することになります。

テクニック ピクチャ パスワードを使うには

Windows 8には、「ピクチャ パスワード」と呼ばれるユニークなサインイン方法も用意されています。以下のように操作して、好みの画像と、その画像のなぞる位置と方法を指定できます。このように設定すると、手順3でパスワードを入力する代わりに、あらかじめ指定した方法で画像をなぞることでサインインできます。タッチパネルを搭載したパソコンでは、直感的な操作でサインインできるので、子供がパソコンを使うためのパスワードとして利用したり、キーボードが苦手な高齢者の方などが使う場合に便利です。ただし、操作方法を他人に見られたり、画面を指でなぞった跡などを見られてしまう可能性もあります。リスクがあることも考えて、慎重に利用しましょう。

❶サインインオプションを変更する

チャーム バーから[設定]－[PC設定の変更]をタップし、[PC設定]を表示しておく



[ピクチャ パスワードの作成]をタップ

❷ピクチャ パスワードを設定する

画面に従って、ピクチャ パスワードの設定を行なう

ピクチャ パスワードを設定すると、サインインのときにピクチャ パスワード入力画面が表示される

Lesson 5

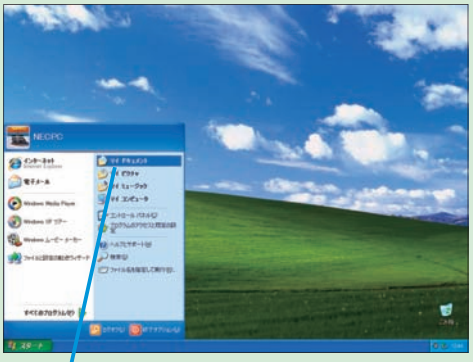
フォルダーを表示するには

フォルダーの表示

パソコンに保存されているファイルを参照するには、［デスクトップ］から［エクスプローラー］を起動します。文書や写真などを扱う基本操作を覚えましょう。

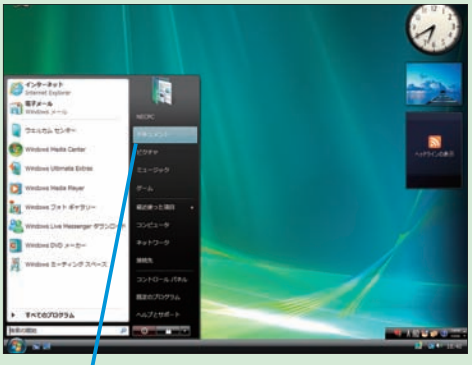
これまでのWindowsでは…

Windows XP



スタートメニューの［マイ ドキュメント］をクリック

Windows Vista、Windows 7



スタートメニューの［ドキュメント］をクリック

1 デスクトップを表示する

レッスン❹を参考に、スタート画面を表示しておく

［デスクトップ］をタップ

ヒント

USBメモリからファイルをコピーするには

Windows 8では、USBメモリのデータも手軽に扱えます。パソコンにUSBメモリを装着すると、画面右上にメッセージが表示されます。そこから［エクスプローラー］を起動して、ファイルを開いたりコピーすることができます。

USBメモリを挿入すると画面右上にメッセージが表示されるので、そこからエクスプローラーを起動する

2 エクスプローラーを起動する

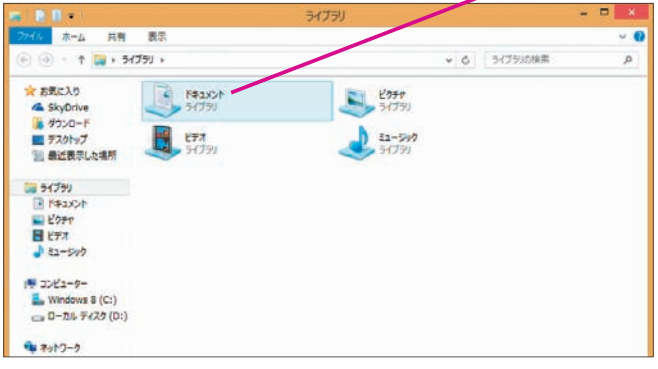
デスクトップが表示された

ここをタップ

3 ドキュメント フォルダーを表示する

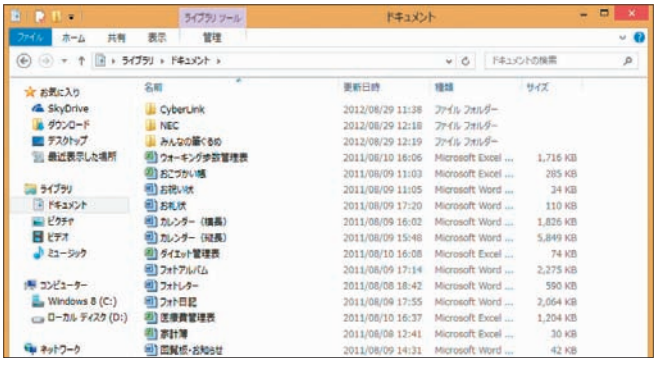
エクスプローラーが表示された

［ドキュメント］をすばやく２回タップ



4 フォルダーの内容が表示された

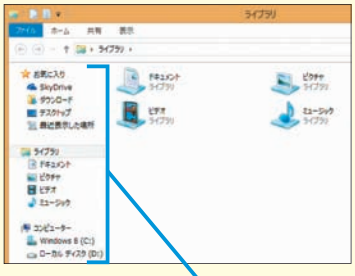
ドキュメント フォルダーの内容が表示された



ヒント

ナビゲーションウィンドウからフォルダーやドライブにアクセスする

パソコンに搭載されているハードディスクの内容を参照したり、［ドキュメント］や［ピクチャ］など、さまざまなフォルダーにアクセスするには、［エクスプローラー］の左側に表示されているナビゲーションウィンドウを使います。よく使うフォルダーをスライドして［お気に入り］に登録しておくこともできるので活用してみるといいでしょう。



このナビゲーションウィンドウからパソコン内の各フォルダーにアクセスできる

Point

デスクトップからエクスプローラーを表示

パソコンに保存されているデータを参照したいときは、以前のWindowsで使い慣れている［デスクトップ］に表示を切り替えてから操作すると便利です。タスクバーに登録されている［エクスプローラー］のアイコンをタップすれば、手軽にフォルダーのデータにアクセスできます。デジタルカメラで撮影した写真やオフィスアプリで作成した文書など、いろいろなデータを保存して、いつでも参照できるようにしておきましょう。

Lesson 6

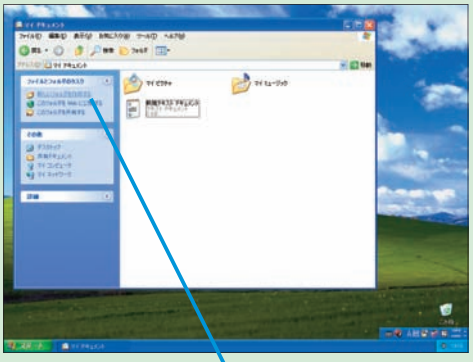
フォルダーを作ってファイルを移動するには

フォルダーの作成・ファイルの移動

［エクスプローラー］を使ってファイルを整理してみましょう。ファイルを分類するためのフォルダーを作成したり、ファイルを移動することも簡単です。

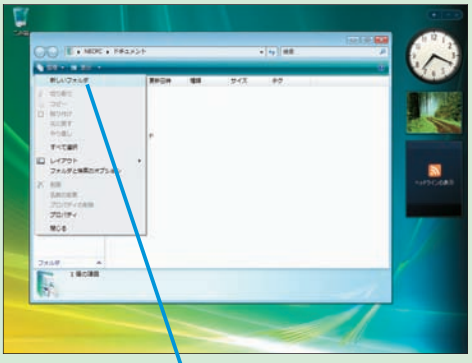
これまでのWindowsでは…

Windows XP



エクスプローラから［新しいフォルダを作成する］をクリック

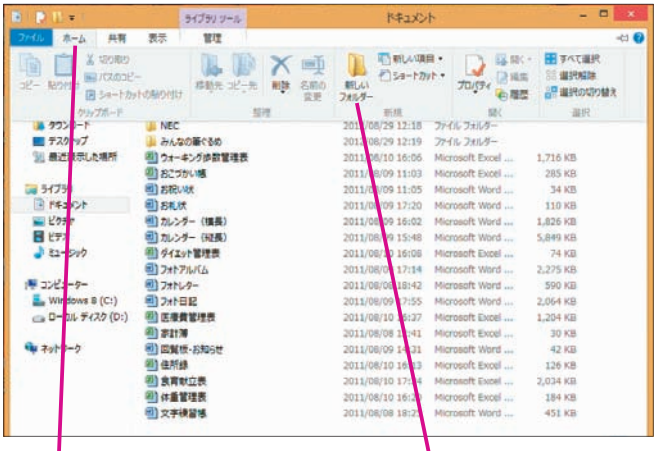
Windows Vista、Windows 7



エクスプローラの［整理］－［新しいフォルダ］をクリック

1 フォルダーを作成する

レッスン❻を参考に、エクスプローラーを表示しておく



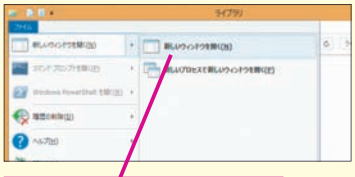
❶［ホーム］をタップ

❷［新しいフォルダー］をタップ

ヒント

新しくエクスプローラーを表示するには

エクスプローラーのウィンドウは、複数開くことができます。［ファイル］メニューから［新しいウィンドウを開く］を選択するか、開きたいフォルダーを長押しして表示されるメニューから［新しいウィンドウで開く］を選びます。また、タスクバーのエクスプローラーのアイコンを長押しして、表示されるメニューからフォルダーを選ぶことでも開けます。

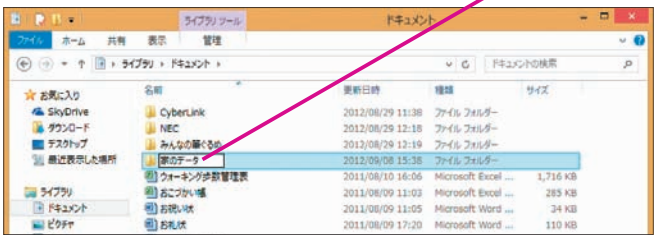


［ファイル］－［新しいウィンドウを開く］をタップする

2 フォルダーの名前を入力する

新しくフォルダーが作成された

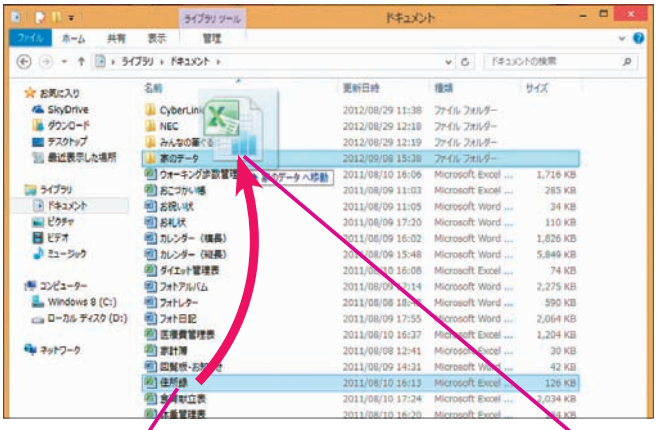
❶フォルダーの名前を入力



❷Enterキーを押す

3 フォルダーにファイルを移動する

新しいフォルダー「家のデータ」が作成された



❶移動するファイルをスライド

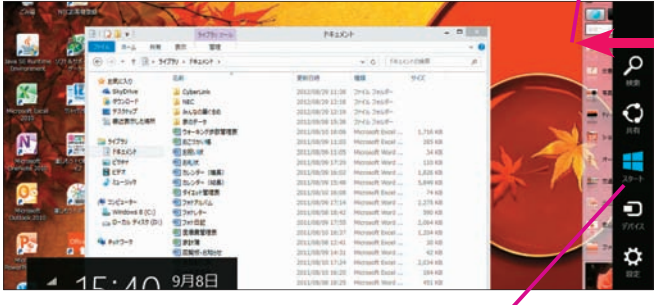
❷フォルダーまでファイルをスライドして指を離す

4 スタート画面に戻る

ファイルがフォルダーに移動した

次のレッスンで［PC設定］を使うためスタート画面に戻る

❶画面右端からスワイプしてチャーム バーを表示

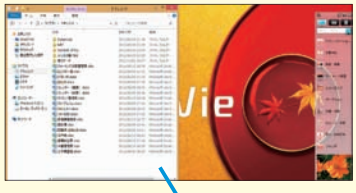


❷［スタート］をタップ

ヒント

ウィンドウをスナップして整列

画面上にウィンドウを並べて表示したいときは、［スナップ］と呼ばれる操作を使うと便利です。ウィンドウのタイトルバーをスライドして、画面の左右どちらかの端まで移動すると、透明のウィンドウが表示されます。そのままマウスボタンから指を離すと、ウィンドウが左右どちらか半分の領域に最大化されて表示されます。



ウィンドウを画面左端にスナップすると、ウィンドウが画面左半分に最大化される

ヒント

スタート画面にすばやく戻るには

スタート画面は、キーボードのWindowsキーを押すことで、いつでも表示できます。別のアプリを起動するために、素早くスタート画面に戻りたいときなどは、その場でWindowsキーを押しましょう。

Point

Windows 8でもファイル操作は同じ

文書や写真などのファイルの管理方法は、これまでのWindowsでも、Windows 8でも、ほとんど同じです。エクスプローラーのメニューがリボン形式に変更されたため、操作方法に若干の違いはありますが、フォルダーを作成してファイルを整理するといった基本的な使い方は同じです。ウィンドウの操作方法なども同じなので、使い慣れた方法でパソコン上の作業ができるでしょう。

Lesson 7

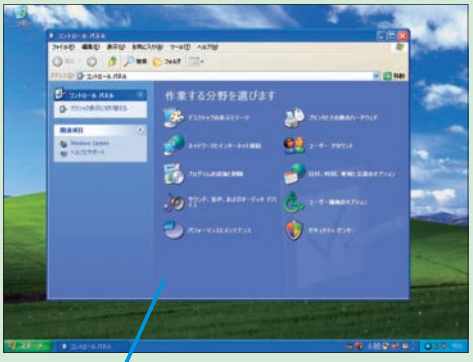
Windowsの設定を変更するには

PC設定

パソコンの設定を好みに合わせて変更するにはどうすればいいのでしょうか？ロック画面の変更を例に、設定の基本となる［PC設定］の使い方を解説します。

これまでのWindowsでは…

Windows XP



スタートメニューから［コントロールパネル］を選択

Windows Vista、Windows 7

スタートメニューから［コントロールパネル］を選択

1 チャーム バーを表示する

スタート画面を表示しておく

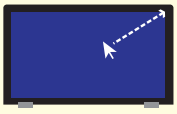
❶画面右端からスワイプしてチャーム バーを表示

❷［設定］をタップ

ショートカットキー

- ⊞+C……チャーム バーを表示
- ⊞……スタート画面を表示
- ↵……ロック画面からサインイン画面を表示

マウス操作



マウスポインタを画面右端の上の角に移動すると、チャーム バーが表示される

ヒント

チャーム バーの表示方法を覚えよう

Windows 8では、検索や設定、デバイスの利用（印刷など）で、［チャーム バー］と呼ばれる機能を頻繁に利用します。表示方法をしっかりと覚えておきましょう。

2 [PC設定の変更]を表示する

[設定]が表示された

❶[PC設定の変更]をタップ

[PC設定]が表示された

❷[パーソナル設定]をタップ

❸変更したい画像をタップ

3 スタート画面に戻る

ロック画面が変更された

❶画面右端からスワイプしてチャーム バーを表示

❷[スタート]をタップ

ヒント

[PC設定]で何を設定できるの？

[PC設定]画面では、画面のデザインなどのパーソナル設定、サインイン方法などのユーザー設定、通知設定、日時、言語など、パソコンの基本的な設定を変更することができます。ただし、すべての設定ができるわけではありません。より詳細な設定は、レッスン❽で説明するデスクトップから[コントロールパネル]を表示することで設定できます。

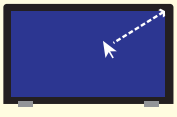
ヒント

[パーソナル設定]でほかの画面の設定も変更できる

手順2の下の画面の[パーソナル設定]では、ロック画面のほかに、スタート画面のデザインやアカウントの画像なども変更できます。スタート画面のデザインを変更すると、スタート画面の背景に選択した模様が表示されます。アカウントの画像は、ロック画面やスタート画面の右上に表示される画像です。パソコンにカメラが搭載されているときは、その場で撮影することもできるので、登録してみましょう。

スタート画面の背景も変更できる

マウス操作



マウスポインタを画面右端の上の角に移動すると、チャーム バーが表示される

次のページに続く

4 画面をロックする

スタート画面が表示された

画像の変更を確認するため、ロック画面を表示する

❶アカウントをタップ

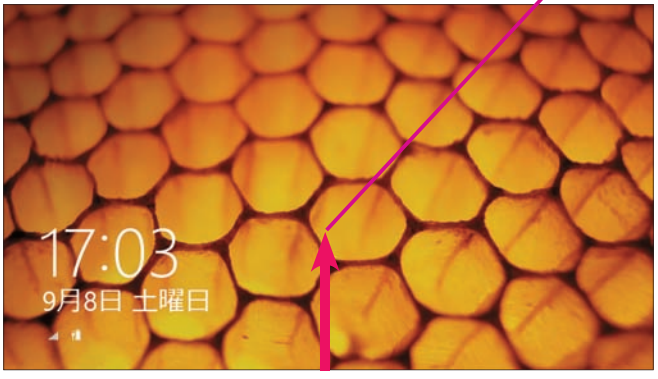
❷[ロック]をタップ

5 ロック画面が変更された

ロック画面が表示された

ロック画面の変更を確認したので、スタート画面に戻るためサインインする

❶画面下端からスワイプ



❷16ページのレッスン❹を参考にWindowsにサインインする

ヒント

ロック画面にアプリの通知が表示される

Windows 8では、ロック画面にさまざまな情報が表示されます。日時はもちろんのこと、この後で解説する[メール]などのアプリを設定すれば、未読メールの数など、アプリの情報もロック画面に表示されるようになります。このような情報を見やすく表示しておくと、快適にパソコンを使えます。

マウス操作

画面上でクリックするとサインイン画面が表示される

Point

Windowsの基本設定をカスタマイズしよう

インターネットの利用や文書の作成など、これから長い間、パソコンと付き合っていくことを考えると、好みに合わせてデザインを変更したり、使いやすく設定を変更しておくことは、とても重要です。このレッスンでは、ロック画面の画像を変更する方法のみ紹介しましたが、[PC設定]を使うことで、このほかにもいろいろな設定を変更することができるので、設定を確認しながら、変更してみるといいでしょう。

テクニック PC設定で設定できる項目

［PC設定］では、大きく分けて、Windows 8の画面デザインや通知などのユーザーごとの個別の設定、全般やWindows Updateなどのパソコン全体にかかわる設定を変更することができます。各項目で、設定可能な機能や概要については、以下の表を参照してください。なお、設定の中には、Windowsの設定が初期化されてしまうものなどもありますので、どのような機能なのかをよく確認してから利用しましょう。

PC設定の項目	設定項目	概　要
パーソナル設定	ロック画面 スタート画面 アカウントの画像	ロック画面やスタート画面、アカウント画像の変更を行います。
ユーザー	お使いのアカウント サインイン オプション その他のユーザー	ユーザーの追加やアカウントの切り替えなどを行います。
通知	通知 次のアプリから通知を表示する	アプリからの通知を設定します。
検索	履歴の検索 次のアプリを使って検索する	チャーム バーの［検索］で使用するアプリを設定します
共有	よく使うもの 次のアプリを使って共有する	共有に使うアプリを設定します。
全般	タイムゾーン アプリの切り替え スペルチェック 言語 PCをリフレッシュする すべてを削除してWindowsを再インストールする PCの起動をカスタマイズする	タイムゾーンや言語、アプリ容量など、システムの基本に関する情報を設定します。
プライバシー	プライバシー	位置情報やアカウント画像など、アプリに個人情報の使用の有無を設定をします。
デバイス	デバイス 従量制課金接続でのダウンロード	パソコンが使う外部機器を設定します。
ワイヤレス	機内モード ワイヤレス デバイス	Wi-FiやBluetoothなどのワイヤレス機器の設定を行います。
簡単操作	簡単操作	Windowsの表示を見やすくしたり、ナレーターによるガイドの再生を設定します。
PC設定の同期	PC設定の同期 同期する設定 従量制課金接続での同期	ほかのパソコンでMicrosoft アカウントを使用するときに同期する情報を設定します。
ホームグループ	ライブラリとデバイス メディアデバイス メンバーシップ	ネットワークでファイルやプリンタなどを共有できるホームグループを設定します。
Windows Update	Windows Update	Windowsシステムのアップデートをします。

Lesson 8

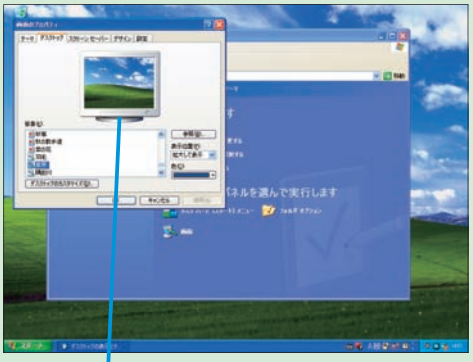
デスクトップの背景を変更するには

コントロールパネル

Windows 8を使いやすくカスタマイズしたり、いろいろな機能を活用するには、［コントロールパネル］を使います。起動方法や設定項目を確認しましょう。

これまでのWindowsでは…

Windows XP



［コントロールパネル］－［デスクトップの表示とテーマ］で背景を変更

Windows Vista、Windows 7

［コントロールパネル］－［デスクトップのカスタマイズ］で背景を変更

1 デスクトップを表示する

スタート画面を表示しておく

［デスクトップ］をタップ

ショートカットキー

Win＋C……チャーム バーを表示

Win……スタート画面を表示

2 コントロールパネルを起動する

デスクトップが表示された

❶画面右端からスワイプ

❷[設定]－[コントロールパネル]の順にタップ

3 [デスクトップのカスタマイズ]を表示する

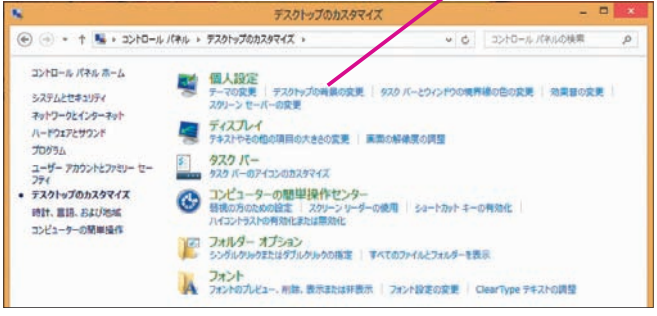
デスクトップに表示が切り替わり、コントロールパネルが表示された

[デスクトップのカスタマイズ]をタップ

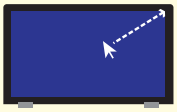
4 [デスクトップの背景]を表示する

[デスクトップのカスタマイズ]が表示された

[デスクトップの背景の変更]をタップ



マウス操作



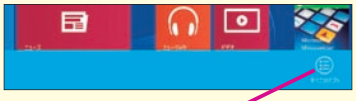
マウスポインタを画面右端の上の角に移動すると、チャーム バーが表示される

ヒント コントロールパネルの表示方法の切り替え

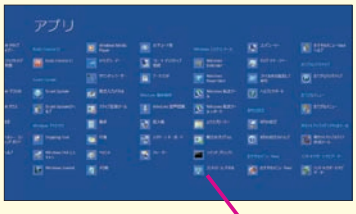
コントロールパネルは、標準ではカテゴリごとに機能が整理されて表示されています。すべての機能を一度に表示したいときは、手順3の画面で右上の[表示方法:カテゴリ]をタップして、[大きいアイコン]または[小さいアイコン]を選びます。

ヒント すべてのアプリからコントロールパネルを起動するには

スタート画面で画面上端からスワイプしてアプリ バーを表示し、[すべてのアプリ]をタップするとアプリの一覧が表示されます。アプリの一覧にある[コントロールパネル]をタップすると、デスクトップに表示が切り替わりコントロールパネルが表示されます。



❶スタート画面のアプリ バーを表示し[すべてのアプリ]をタップ



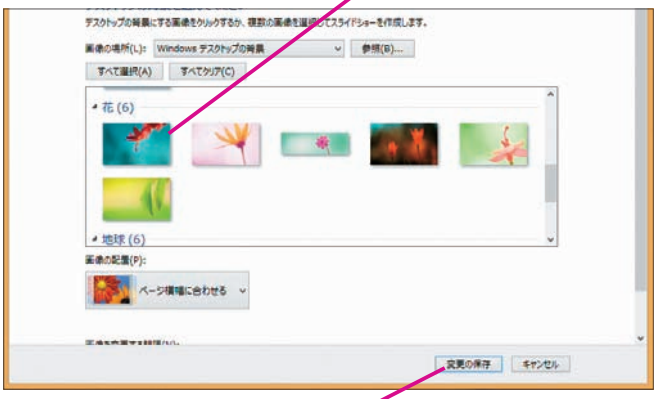
❷アプリの一覧が表示されるので[コントロールパネル]をタップ

次のページに続く

5 デスクトップの背景を変更する

［デスクトップの背景］が表示された

❶変更する背景をタップ



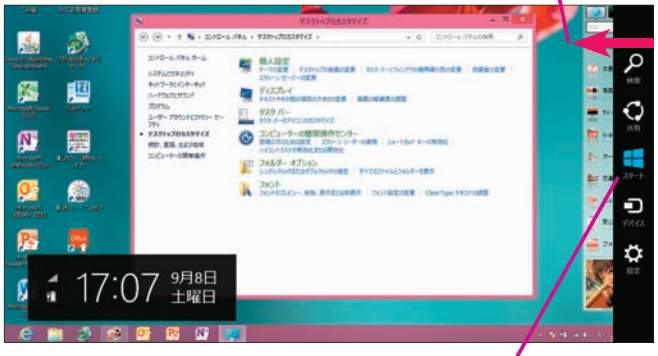
デスクトップの背景が変更された

❷［変更の保存］をタップ

6 スタート画面に戻る

［デスクトップのカスタマイズ］が表示された

❶画面右端からスワイプしてチャーム バーを表示



❷［スタート］をタップ

スタート画面が表示された

［デスクトップ］のタイルも背景に合わせて変更される

ヒント

デスクトップの背景を素早く変更するには

デスクトップの背景は、デスクトップの何もないところを長押し（マウス操作の場合は右クリック）することでも変更できます。長押し（右クリック）すると、メニューが表示されるので、［個人設定］をタップすると、手順5と同じ画面が表示されます。設定した背景を確認しながら、何度も変更したいときは、この方法を使うと便利です。

デスクトップで長押して表示されるメニューから［個人設定］をタップする

Point

［コントロールパネル］と［PC設定］を使い分けよう

Windows 8の設定を変更する方法には、レッスン❼で紹介した［PC設定］と［コントロールパネル］の2通りがあります。時刻の設定やWindows Updateなど、両方に共通する設定もありますが、基本的にスタート画面やWindows ストア アプリに関する設定は［PC設定］で、デスクトップや従来のWindowsと同じ設定に関しては［コントロールパネル］で設定します。設定したい機能に合わせて、うまく使い分けましょう。

テクニック コントロールパネルで設定できる項目

コントロールパネルは、Windows 8のほとんどの設定を変更できるツールです。［PC設定］には含まれていない高度な機能や詳細な設定を変更することができます。パソコンに周辺機器を追加したときや、ネットワークの機能を活用してファイルを共有したいといったときなどに利用します。なお、Windows ストア アプリの削除など、コントロールパネルからは実行できない機能もあります。すべての機能を変更できるわけではありません。

コントロールパネルの項目	設定項目	概要
システムとセキュリティ	アクションセンター Windowsファイアウォール システム Windows Update 電源オプション ファイル履歴 記憶域 Windows 8への機能の追加 管理ツール Flash Player（32ビット）	パソコンのシステムとセキュリティを設定します。
ネットワークとインターネット	ネットワークと共有センター ホームグループ インターネット オプション	ネットワーク機器や共有、インターネットの接続に関する設定を行います。
ハードウェアとサウンド	デバイスとプリンター 自動再生 サウンド 電源オプション ディスプレイ Windowsモビリティ センター 位置情報の設定	プリンターやサウンド、電源、画面、位置情報などの設定を行います。
プログラム	プログラムと機能 既定のプログラム	インストールしているプログラムの設定を行います。
ユーザー アカウントとファミリー セーフティー	ユーザー アカウント ファミリー セーフティー 資格情報マネージャー メール（32ビット）	Windowsにサインインするアカウントと、お子さんがパソコンを使うためのセーフティ機能を設定します。
デスクトップのカスタマイズ	個人設定 ディスプレイ タスク バー コンピューターの簡単操作センター フォルダー オプション フォント	デスクトップのテーマやスクリーンセーバーなどを設定します。
時計、言語、および地域	日付と時刻 言語 地域	使用する地域や言語、日付や時刻の設定を行います。
コンピューターの簡単操作	コンピューターの簡単操作センター 音声認識	視覚、聴覚、四肢の状態にあわせてコンピューターの設定を調整します。

この章のまとめ

● Windowsの初期セットアップをして、基本操作を覚えよう

NECパソコンを使い始めるときに、最初に必要になるのが、この章で紹介した初期セットアップです。特にWindows 8ではWindowsにサインインするためのユーザーとして、Microsoft アカウントを利用します。第2章で紹介するWindows ストア アプリなど、Windows 8ならではの機能を使うために必要になるので、きちんと設定しておきましょう。また、パソコンを使うときに欠かせない起動方法や終了方法、デスクトップやエクスプローラーの使い方についても、この章で解説しました。以前のWindowsを使っていた人にとっては、これまでとは画面や操作が違う場合もあるため、少し戸惑うかもしれませんが、決して難しい操作ではありません。これからWindows 8を使っていく上で、毎回必要になる操作になるので、しっかりと覚えておきましょう。

Windows 8の基本操作を知る

初期セットアップ・起動と終了・ファイル操作など、これからWindowsを使っていくうえで必要となる基本操作を理解する